

ながくて 議会だより

Nagakute City Assembly

No.98
3月定例会

平成28年5月1日発行



特 集

平成28年度長久手市一般会計予算…2～5

議案等審議状況(○×表)…9

一般質問(代表・個人)…10～21

ぼくは今日から1年生

予算特別

委員会

委員長

じんの 和子

副委員長

ささせ 順子

青山 直道

大島 令子

岡崎 つよし

佐野 尚人

なかじま 和代

林 みすず

平成28年度一般会計予算 長湫北保育園5.5億円、リニモ 市が洞小学校区共生ステーション

地域共生ステーション整備

Q (仮称)市が洞小学校区共生ステーション整備事業1億2,000万円の内訳は。

A 市が洞小学校区共生ステーション用地3,660万円、整備工事費7,390万円(建物改修2,890万円、増築3,000万円、周辺環境整備1,500万円)、その他は消耗品や実施設計委託費として計上した。

Q 長湫南部土地区画整理組合から1億2,000万円の指定寄附があったので、ほとぎのさと展示施設を整備することになったのか。

A 調整池周辺、地域のエントランス等の整備、ほとぎのさと展示施設、集会所機能をもった共生ステーションの整備など寄附の目的を尊重したい。

Q ほとぎのさとの出土品は、市の文化財であり全市民が共有すべきものだ。文化財の所管である生涯学習課と協議した結果、(仮称)市が洞小学校区共生ステーションに展示施設を設けることにしたのか。

A 古戦場公園の資料館整備もあるが、市の文化財として、出土した市が洞で展示したい。

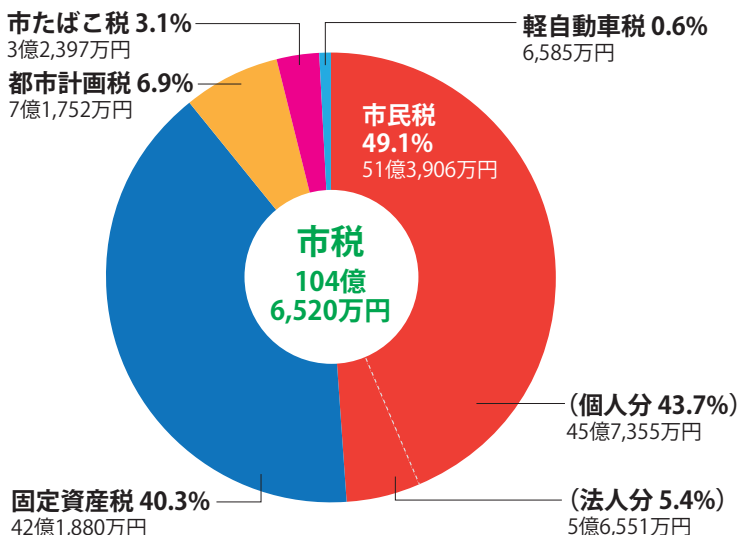
Q 当初の共生ステーションの理念と市が洞小学校区地域共生ステーション整備方針はかけ離れていると考えるが、市長の考えは。

A 当初は、空き家や空き部屋の活用を考えていた。そこに新しく住んだ人たちがどうしていくのか任せたい。地域財源を残してくれたので、使い方は今後を見ていく。

※ほとぎのさと展示施設では、丁子田1号窯、市ヶ洞1号窯から出土した飛鳥時代の須恵器を展示予定。



旧長湫南部土地区画整理組合事務所が共生ステーションとなる



186億円を可決 ～附帯決議を付すべきと決す～

出資金4.2億円、 ヨン1.2億円

長湫北保育園新築移転事業

Q 長湫北保育園新築移転は、木造2階建に変更されたが、木造以外の工法やランニングコストを比較して決定したのか。

A 材料費、修繕のしやすさ、園児の生活環境を総合的に判断し木造とした。ランニングコストも大切だが、園児が自然のぬくもりを感じる環境を重視した。



長湫北保育園は鴨田公園横に新築移転される

リニモ支援

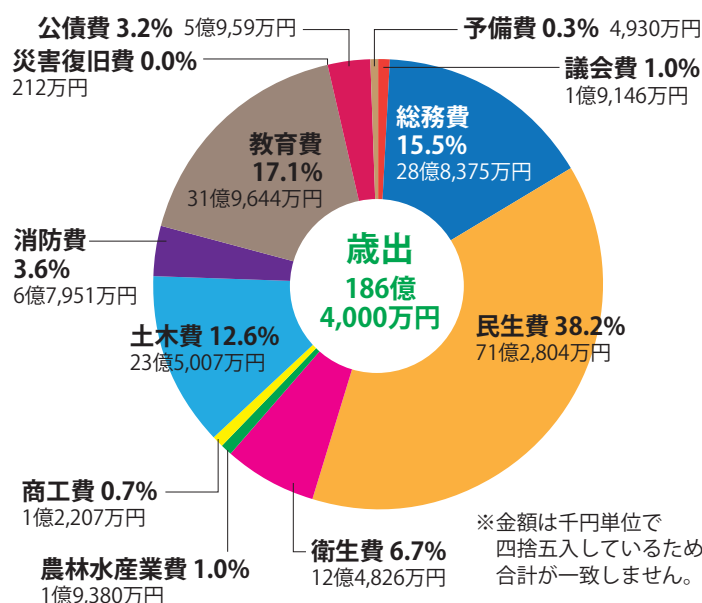
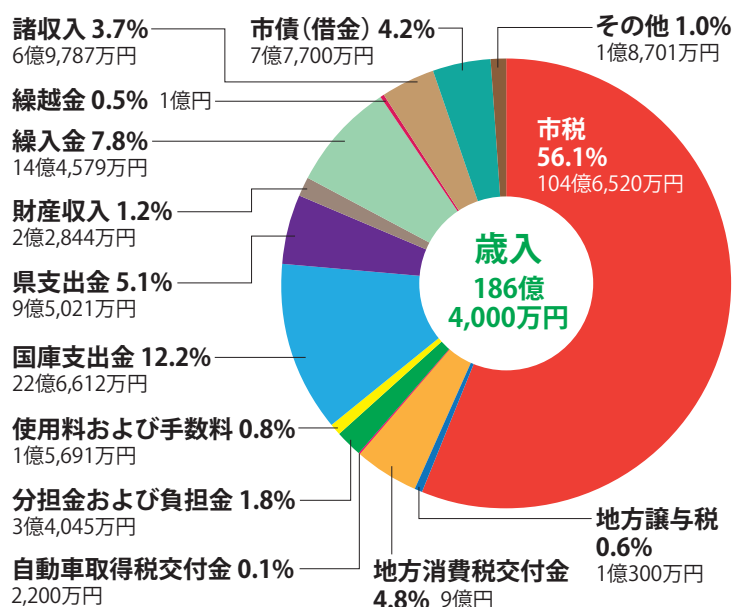
Q リニモへの出資金4億1,700万円とある。第2次経営支援(平成26～28年度)では沿線自治体のほか、民間支援も投入することになっていたが、確保はできたのか。

A 民間支援5億3,303万円は確定した。



リニモ支援は平成28年度が最終年度となる

平成28年度一般会計予算



クレジットカードによる市税収納

Q 市税のクレジット収納が始まるが、納税者の手数料負担はどのようなか。

A 決済1万円ごとに108円の手数料が発生。口座振替、窓口納付、コンビニ納付との均衡を図り、市は1件につき54円を負担する。

非核平和都市のまち

Q 戦後記念誌を作成とあるが、どのように活用するのか。

A A4版56ページの冊子を500部作り、Webにも掲載予定。戦争体験者の高齢化もあり、戦後70年が記録を残す最後の機会と考える。市民の協力を得て作成する予定。

第6次総合計画

Q 総合計画市民会議の規模や目的はどのようなか。

A 総合計画策定のコアメンバーとして60人を集めたい。基本構想に向けた議論を始める。

まちづくりのルールを定める自治基本条例

Q 自治基本条例策定は平成28年度で5年目になり約1,000万円を投入となる。進捗状況はどのようなか。

A 平成29年度制定に向けて進めている。平成28年度は市民を交えた条例検討委員会と諮問機関である審議会を予定。検討委員会ではインタビューや懇談会で直接意見を聞き市民、議会、行政の役割などを話し合う。

中学卒業まで無償化の子ども医療費

Q 子ども医療費支給額が、約7,600万円も大幅に増加した要因は何か。

A 受給者の2%増、月額医療費の11%増が要因である。(平成26年度は2,960万円増、平成27年度推計は3,270万円増)

教育環境の充実

Q 教育支援アドバイザーとはどのような役割の人か。

A 障がいのある児童もそうでない児童も一緒に授業を受けている大阪市立大空小学校の元校長木村泰子氏に依頼したい。先進的取り組みをした経験に期待している。

中央図書館

Q 中央図書館の防犯カメラを増設するのか。図書の出禁止のセキュリティシステムの導入はあるか。

A 防犯カメラの更新は安全面を重視し、新たに録画機能を付け4台増やして12台とする。持出し防止は、図書にICチップを装備しないと対応できないので早めの対応を検討したい。

自治会連合会、区会への補助金

Q 地域振興事業のコミュニティ推進事業補助金は、防犯カメラのランニングコストを認めている。補助金の対象にすることが適正か。

A 当分は補助対象とする。平成28年度コミュニティ推進事業補助金要綱の検証をしたい。

観光振興

Q 観光交流協会の職員体制と人件費分の補助金はいくらか。新年度の事業計画はどのようなか。

A 事務局長、局長補佐、事務局員、パートの4人体制で約1,000万円が人件費分の補助。年度計画は前年度事業の継承に加え、資源発掘のため市民の協力を得て、雑誌の発行を検討している。

まちの緑化

Q あいち森と緑づくり交付金事業を300万円から2,000万円に増額した理由は何か。

A 平成27年度は200万円を超える申請があり予算不足となったので、平成28年度は300万円を5件と積算。また、大規模商業施設の壁面緑化の申請を想定し、2,000万円の予算措置とした。

ICT化

Q ペーパーレス会議システムとはどのような内容か。

A タブレット40台でWi-Fi環境を整える。まずは幹部職員の政策調整会議等で使い徐々に拡大し、将来的にはペーパーレスとしたい。



平成28年度あいち子ども森の竹林整備

賛成討論

中長期的視野に立ち、将来世代に負担を残さないよう必要性や公益性を十分に考慮すること。地域住民の意見を尊重し、今以上に住み続けたいまちとなるよう施策を実行すること。また、地域振興事業では適正な支出をきちんとチェックし、段階ごとに議会への報告を求める。特に共生ステーション整備では、華美にならないよう留意し、詳細な内容を市民に説明することが必要である。長湫北保育園の工事もすでに1年遅れている。上郷保育園の基本構想策定は早くしてほしいことを要望する。
(ほか2件の賛成討論があった)

反対討論

実質賃金や年金が増えず、税や保険料の負担に耐えている市民がいる。本市予算は社会的基盤の整備に重点を置き、税や教育費、医療費の負担軽減には着手していない。滞納整理で税徴収率向上や給食センターの安価な委託化をすすめる国と同様の施策だ。愛知高速交通(株)(リニモ)への支援も累計56億円と負担は重く、県負担増額を要請すべきだ。多くの年数と費用をかけた幸せのモノサシづくりや、共生ステーションの方向性が不明瞭との意見が大半で、部・枠配当の予算をやめ、支出の不透明性を払拭することが第一義的課題であると考えてる。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

附 帯 決 議

予算特別委員会が付すべきと決した附帯決議は、3月22日の本会議において、全会一致で付すべきと決した。

一般会計予算事業の執行にあたり、下記の事項に留意して、市民の税金を無駄にしない健全な財政運営に努め、真の市民福祉の向上に繋がるよう執行すること。

- 1 平成28年度の予算は、市債は総額7億7,700万円の見込みで、基金は13億8,425万円の減少となる。予算執行にあたっては、将来世代に負担を残さない配慮をすること。
- 2 地域振興事業、今後の地域共生ステーション整備事業にあたっては、必要性や公益性を十分留意し、地域格差を生まないように執行すること。
- 3 保育園や放課後児童クラブ事業、放課後子ども教室事業の待機児童解消に全力をあげて取り組むこと。また、長湫北保育園の移設新築に関しては、地域住民の意見を尊重しつつ早期に完了することができるように努めること。
- 4 リニモ経営支援は、赤字補填最後の年となる。先の横領事件のようなことを今後二度と起こさない真剣な経営をすることを愛知高速交通株式会社に要請すること。

総務 委員会

委員長 佐野 尚人 副委員長 山田 かずひこ 吉田 ひでき 加藤 和男 伊藤 祐司 川合 保生

平成27年度 一般会計補正予算

Q 特別支援教育就学奨励費補助金を増額した理由は何か。

A 当初36人を想定していたが、39人になったため増額となった。

Q 「古戦場再整備基本計画策定事業」「スポーツ施設整備基本構想策定事業」ほか11事業を繰越明許とした理由は何か。

A アンケートや市民ワークショップに時間を要し、事業が遅れたため。

Q 都市緑化基金積立金の使途は何か。

A 基金の収益を運用し、市全体の緑道の維持管理等をしている。

Q まだバリアフリー化されていない学校はあるのか。また、いつ対応するのか。

A 西小学校と南小学校が未対応である。大規模改修に合わせて対応する予定である。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



基本構想策定が大幅に遅れている枵ヶ池体育館

部設置条例の 一部を改正する条例

Q 市の組織が変わり、市民に不便とならないよう考慮しているのか。

A 広報4月号で組織改編について周知する。

Q 長久手の産業として商工業、観光、農業は一体として考えるべきだが、所管課を分けた理由は何か。

A 緑については農地も含め大きな枠組でとらえ、みどりの推進課を担当とした。また観光については、観光交流協会が設立されたこともあり、たつせがある課を担当とした。

Q 平成こども塾は学校連携や生涯学習を軸としていたが、今回、みどりの推進課の所管になるのはなぜか。

A みどりの推進課では里山連携や、引き続き学校連携や社会教育の要素を持ちながら行うので、設立の趣旨が変わることはない。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

職員の給与に 関する条例等の一部を 改正する条例

Q 行政職給料表等級別標準職務表では等級が8つに分かれているが、近隣市の状況はどのようなか。

A 愛知中部水道企業団は9級制だが、実質的には8級以下で運用しているため、本市と状況は同じである。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

教育福祉 委員会

委員長 岡崎 つよし 副委員長 ささせ 順子 上田 大 林 みすず なかじま 和代 じんの 和子

平成28年度 国民健康保険 特別会計予算

Q 保健事業アドバイザーの仕事はどのようなものか。また、報酬金は何人分を計上しているか。

A 平成27年度策定したデータヘルス計画に基づく保健事業実施にあたり、大学や健康運動指導士等からの助言・支援を目的としている。予算は3人程度を対象とし、1回当たり8,000円、全体で5回を計上した。実施内容は現時点では未定である。

採決の結果、賛成多数にて原案のとおり可決

平成27年度 介護保険特別会計 補正予算

Q 介護サービス等諸費は1,500万円の減額補正としているが、介護報酬の削減による影響があったのか。

A 報酬単価の見直しと、対象施設の利用人数減少による施設介護サービス給付費の減額補正である。平成26年度は月平均94人の利用だが、平成27年度は5人減の見込みである。

Q 利用人数の減少は、介護認定が厳しくなった影響なのか。

A 制度改正による影響はない。認定者数は、平成27年1月末で1,168人、平成28年1月末で1,216人と増えており、認定率も14%程度で推移している。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決

保育所の設置及び 管理に関する条例の一部を 改正する条例

Q 長湫西保育園の定員が16人増えるが、保育士の配置はどうか。

A 全てのクラスで1人の正規職員を配置し、必要に応じて嘱託員を配置している。今回の改修により新たに4人の嘱託保育士を配置する。

Q 改修は国の最低基準が守られ、スペースに余裕がある状態となるのか。

A 園児1人につき1.98㎡、2歳未満児については3.3㎡との基準に基づいた改修となっている。

採決の結果、賛成全員にて原案のとおり可決



改築して定員が増えた長湫西保育園の保育室



委員長

田崎 あきひさ

副委員長

山田 けんたろう

大島 令子

木村 さゆり

青山 直道

さとう ゆみ

くらし建設

委員会

平成28年度 卯塚墓園事業 特別会計予算

Q 主な費用は何か。

A 残土処理、植栽工事がそれぞれ1,500万円、トイレ整備が2,000万円、管理棟建設が7,000万円である。

Q 管理棟設置工事を平成28年度に延期した理由は。

A 用途地域の制限など、愛知県との協議で時間を要したためである。

Q 卯塚緑地公園協会へ委託する業務は協会から別の業者に約600万円で委託されるが、具体的な内容はどのようなか。

A 受付や相談業務である。再度の委託は、現状で協会の体制が整っていないためである。

採決の結果、全員賛成にて原案のとおり可決

平成27年度 卯塚墓園事業 特別会計補正予算

Q 施設管理委託を減額した理由は何か。また竣工後の管理は指定管理とするのか。

A 管理棟の建設を平成28年度に延期したため減額補正し、平成28年度予算に改めて計上した。平成27年度は除草作業や一部受付業務を委託している。平成28年度は芝生墓所の植栽管理、施設管理を加え、一体で管理委託する。

採決の結果、全員賛成にて原案のとおり可決

平成28年度 公園西駅周辺 土地区画整理事業 特別会計予算

Q 公園西駅の横断歩道橋設置について、イケアから協力金を受けられないか。ネーミングライツ(命名権)などを提案し、経常的な歳入を確保してはどうか。

A イケアからの協力金は、現時点で約5,000万円であるが、引き続き協議をしていきたい。歩道橋完成後は、ネーミングライツを検討する。

Q この歩道橋の設置工事に国や県の補助は受けられないか。

A 国庫補助が10分の4の補助率で受けられる見通しである。

Q 歩道橋の仕様はどのようなか。

A イケアとの接続はなく幅員は4mである。

採決の結果、全員賛成にて原案のとおり可決



横断歩道橋工事は5億5,000万円の予算が計上された

平成28年 第1回定例会 議案等審議状況

議長 伊藤祐司は採決に加わらない ○は賛成 ×は反対

提出者	議案名	審議結果	上田 大	林 みすず	なかしま和代	山田けんたろう	大島 令子	ささせ順子	木村さゆり	山田かずひこ	青山 直道	岡崎つよし	田崎あきひさ	吉田ひでき	さとうゆみ	じんの和子	加藤 和男	佐野 尚人	川合 保生
市長	平成28年度一般会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度国民健康保険特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度土地取得特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度公共下水道事業特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度農村集落家庭排水施設特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度介護保険特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度後期高齢者医療特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度卯塚墓園事業特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度公園西駅周辺土地地区画整理事業特別会計予算	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度一般会計補正予算(第5号)	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度農村集落家庭排水施設特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度卯塚墓園事業特別会計補正予算(第1号)	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度公園西駅周辺土地地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	部設置条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	行政不服審査会設置条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	行政不服審査法関係手数料条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	情報公開条例及び個人情報保護条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	自転車等駐車場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	母子・父子家庭医療費支給条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	火災予防条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の廃止	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の認定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	公平委員会の委員の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	議会委員会に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
	議会会議規則の一部を改正する規則	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	子どもの貧困対策のさらなる取組強化を求める意見書の提出	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成28年度一般会計予算に係る附帯決議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

創政クラブ

岡崎 つよし 議員



Q 平成28年度一般会計予算の時間外勤務手当はいくらか

A 1億1,684万円

Q 時間外勤務の削減目標を全庁で共有し、一体となって取組むことが重要であるが、削減に向けた今後の対応は。

A 行政経営部次長 女性職員の活用促進に向けた施策提言を受け、各課や職員個人単位で業務の実態に即した定時退庁日を決めた。

Q 樹木型合葬式墓所は何体の応募があったのか

A 公募数100体に対して584体

Q 卯塚墓園は、樹木型合葬式墓所の要望が多い。次期の計画で見直すのか。

A 暮らし文化部長 平成30年度以降に行う第2期工事で増設も含め検討する。

要望が多かった樹木型合葬式墓所

Q 平成27年の本市への「ふるさと寄附金」はどのような

A 7件で13万5,000円

Q 他の自治体に寄附をした市民は何人か。

A 総務部次長 寄附者は343人で、寄附金の合計は3,071万8,000円。

Q 平成26年のふるさと納税により平成27年度の住民税の税収はどのようになったか。

A 約945万円の減収になった。

Q 寄附金をいただくための今後の課題は何か。

A 民間のポータルサイトへの掲載やクレジット決済についても検討する。

長久手ブランドについて

Q 長久手ブランドを発信する観光大使が必要と考えないか。

A 暮らし文化部長 観光交流協会に提案を伝える。



公明党

木村 さゆり 議員



Q 財政見通しは

A 市税の増加が期待されるが、計画的な財政運営を行っていく

Q 平成13年から15年間不交付団体として健全な財政運営をしてきたが、今後の財政見通しはどのようなか。

A 総務部長 今後もしばらくは人口流入が続く他、リニモ沿線に大型商業施設が相次いで開店する見込みなど、個人市民税や固定資産税などの市税の増加が期待される。一方、北小学校の増築や保育園の新築の他、小中学校をはじめとした公共施設の大規模修繕等、今後は公共施設やインフラ施設等の更新や修繕の事業費が必要となり平成29年度に策定予定の公共施設等総合管理計画と合わせ、計画的な財政運営を行っていく。

Q 胃カメラ検診の導入を

A 導入が可能であれば実施していく

Q がん対策加速化プランでは胃がん検診で胃カメラ検査も普及させるとしている。がんのリスクが高まる50歳以上を対象とし、受ける間隔は2年から3年でもよいとされている。本市においても内視鏡による検診を導入すべきではないか。

A 福祉部次長 市内医療機関との調整を進め、今後導入が可能であれば実施していく。

女性の活躍推進について

Q 女性職員が働きやすい職場とするために配慮していることはあるか。

A 行政経営部長 女性職員で構成するプロジェクト・チームから市長に「女性職員の活躍促進に向けた施策提言」が提出された。所属課等や、個人単位で定時退庁日を定める提言を全庁的に取り入れる等、女性の働きやすい職場づくりに配慮している。



平成28年12月に完成予定の
大型商業施設

市民ネット

じんの
和子
議員



Q 公共施設等総合管理計画の策定はいつか

A 目標は平成29年度

Q どのように取り組むか。

A 行政経営部長 平成27年度から、固定資産台帳の整備、施設のランニングコスト等の運営状況の集約、施設の用途別分類整理をしている。平成28年度は、公共施設の配置・運営状況等を一元化した施設情報、長期的な施設更新予測等の公共施設白書を作成し公開する。

Q 公共施設白書を作成後、市民に将来予測を説明しながら策定するのか。

A 公共施設白書の内容や市民意識調査結果を市民に伝えるため、各所で説明会や意見交換を行い、現状の課題や将来予測を説明し



ながら公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいきたい。

Q 胃がん検診に内視鏡検診の導入をしないか

A 医療機関と調整し導入可能であれば実施

Q 介護老人保健施設の開設準備状況は。

A 福祉部次長 3者の応募があり、事業予定者に「医療法人社団ちとせ会」を選定した。開発許可の手続きに入っている。平成29年度中の開設に向けて準備している。

子育て支援の充実を

Q 来年度の保育園待機児童解消策は。

A 福祉部長 平成28年4月1日現在で0歳から3歳児までの受入れを64人拡充。

Q 待機となった児童のフォローは。

A 平成28年度から子育てコンシェルジェを配置し、切れ目のない子育て支援に取り組む。

Q 保育士の確保は。

A 平成28年度は、保育士を長湫西保育園改修で6人増、年度途中の入所対応で数人必要となる。平成29年度は長湫北保育園移転で約15人増。保育士の待遇改善の協議も必要。各クラスに必ず1人は正職員を配置し保育の質の向上に努めたい。

名古屋市ではすでに公共施設白書が策定され、市政出前トークが行われている

政策
グループ
ガイア

大島
令子
議員



Q 特養での事故や苦情件数は

A 月平均1~2件である

Q 特別養護老人ホームでの介護事故防止体制整備は施設管理者の責務である。市は2月に生命に関わる大事故が起きたことを確認しているか。

A 福祉部次長 報告を受けている。

Q 親身に相談できる体制を設けるべきであるがどうか。

A 市と地域包括支援センターで真摯に対応している。

Q 長久手土地改良区第一工区を解散できない理由は

A 土地の境界と運営資金の問題と考えている

Q 解散資金はどのくらい必要か。

A くらし文化部長 委託すると300万円程である。書類の作成、登記手続きは土地改良区が行う。市は土地の境界問題解決のために用地測量を行い県との事前調整も含めて平成28年度解散に向けて積極的に支援する。

Q 設立から48年経過し役員も高齢化した。平成28年度中に必ず解散できるか。

A 平成28年度解散を市と改良区がタッグを組んで行くと約束した。

コンサルタントへの委託業務について

Q 委託基準は設けているのか。

A 総務部長 現在基準はない。

Q 住民プロジェクト事業委託は研修に終始した。3年間で1,372万をかけて29回研修会を開催し、何人が参加したのか。

A くらし文化部次長 市民と市職員50名前後である。

Q コンサル委託に共通していることは競争性のない随意契約であり言い値の感がある。市長は二期目の所信でコンサルに委託しないと述べた。委託する、しないの基準を作成し議会にも報告すべきであると思うがどうか。

A 総務部長 平成28年度は一括委託せず内容を精査して減額の査定もした。

長久手
グローバル
ネット

佐野
尚人
議員



Q アレルギーのある児童も米飯を選んで食べられるようにできないか

A 研究していく

Q 現在給食の主食は米飯が多くなってきている。米アレルギーの児童は少ないため、主食の米飯だけを選択できるようにすれば、主食だけでも他の児童と一緒に食べることができる。選択できるようにして少しでもクラス内の疎外感を軽減できないか。

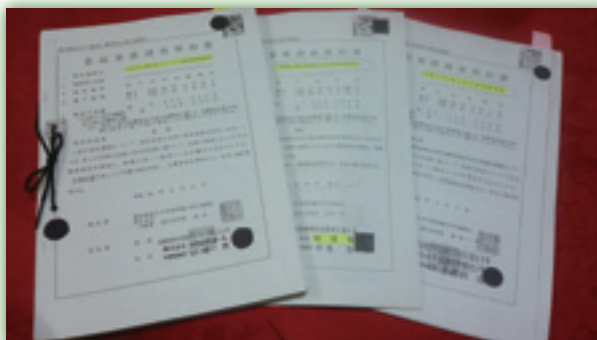
A 教育部長 食数管理や調理場での指示書、給食費の管理を変更する必要があり、直ちに実施できない。

Q 民間に調理を委託する段階で給食センターの作業や管理栄養士に余裕ができる。こうしたアレルギーの対応をできるよう検討してほしい。



一緒に食べられるメニューを増やしたい

コンサルへの委託業務請負契約書の一部



A 他の自治体の状況も踏まえ検討していく。

Q 消防団器具庫の耐震化を

A 検討していく

Q 災害時において消防団の器具庫は拠点となる。将来、消防の広域化も視野に入れた適正配備も考慮しながら随時耐震改修を進めていくべきではないか。

A 消防長 適切に対処すべき課題であり、既存の施設の活用も含めて検討していく。

Q 里山の保全はどのように

A 整合性をもってすすめる

Q 里山プランが示された。利用と保全のエリアが重複したなかでどのように整合性を図るのか。

A 暮らし文化部長 自然保護の観点から保全するエリアを確認しながら進めていく。

Q コミュニティ強化の事業が固定化していないか

A 検証している

Q 地域の困り事を解決するために助成している地域振興事業でイベントなどの事業が固定化していないか。

A 暮らし文化部長 毎年事業を検証している。

なかじま 和代 議員



Q 長久手市を代表するゆるキャラは何か

A ナッキー

Q あまり使われていないが今後積極的に使っていくつもりか。

A 暮らし文化部長 さまざまな機会をとらえ、利用を考えていく。

Q クーテシガーナは広報などで広く使われ、かわいらしく子どもにも大人にも人気があるが、どういう扱いか。

A 市のキャラクターではない。著作権は個人所有で、利用規定はない。アートフェスティバルのマスコットキャラクターとして市が使用させていただいている。

Q クーテシガーナも熊本県のくまモンのように長久手市の責任で利用における環境整備ができないか。

A 検討する。

Q 小学生の自転車免許を導入しないか

A 計画はない

Q 自転車による交通事故の現状はどのようなか。

A 暮らし文化部長 平成27年は1年間で77件あった。

Q 児童館の施設利用の対象は

A 0歳～18歳

Q 中高生利用のために何をしているか。閉館時間を延長できないか。

A 福祉部長 漫画や卓球台を設置している。閉館時間延長は安全面など考慮し検討する。

Q クラスパフォーマンスの練習で、夕方や休館日に中学生がクラス単位でホールを利用することができるか。

A 責任者がいれば団体利用の対象として検討する。

Q 幼児と保護者の昼食場所提供は、平成28年度から児童館4カ所へと拡大するが、利用するために申し込みは必要ない。小学生は申し込みが必要で、同居している保護者全員の就労証明提出などハードルが高いが、利用に許可が必要か。

A 留守家庭の児童に特別に許可する制度。手続きの簡素化は研究していきたい。



商工会のゆるキャラナッキー

一般質問

ささせ 順子 議員



Q リモテラス周辺の交通渋滞対策は

A 古戦場南交差点と山越交差点の改良工事を進め、御富士交差点も県と協議する

Q イオン開店に伴う交通量増加に備え、事前に通学路の安全対策をしないか。

A 暮らし文化部長 教育委員会など関係機関と検討する。

就労支援体制の充実を

Q 誰もが起業できる就労支援体制を整えないか。

A 暮らし文化部長 来年度に近隣市町と協力し、商工会や自治体中心の創業支援体制を構築する。

Q 市内で農業に挑戦したり、農地の貸し借りがしやすいしくみを整えないか。

A 計画中的のアグリサポートセンターで、農業を始める人に農地輪旋や農機具の貸出し、農地の貸し借りのマッチングを支援する。

Q 農福連携の強化対策は。

A 農地輪旋や連携農業者の紹介などの支援をしたい。

生活困窮者支援について

Q 生活困窮者自立支援事業の就労支援はどのようなか。

A 暮らし文化部長 相談者の課題を整理し、ハローワークの巡回職業相談や個別就労支援をしている。すぐに就労が困難な場合、障がいのある人には福祉サービスによる就労支援を、ひきこもりや病気などの理由で長期間就労から離れていた方には生活リズムやコミュニケーション能力の習得など、社会訓練を含めた就労準備支援をする。

Q ひきこもりの家族を抱える家庭に家庭訪問での相談支援ができないか。

A 福祉部次長 相談者の了解が得られれば積極的に実施する。

Q 生活困窮世帯の児童生徒に学習支援をする計画はあるか。

A 平成28年度予算に子育て支援策として計画した。



誰もが活躍できる就労支援体制を

田崎 あきひさ 議員



Q 地方債残高の推移は

A 増加傾向に転じている

Q 市長就任来、地方債(借金)はいくら増えるか。

A 総務部次長 平成28年度末の地方債残高は一般会計・特別会計合算で174億2,000万円ほど。市長就任来、28億3,000万円ほどの増加となる。

Q 積み立ててきた基金の取崩しについてはどうか。

A 平成28年度末の一般・特別会計合算の基金残高は51億2,700万円ほどとなる。

年度末地方債残高の推移 単位:千円

	H22	H23	H24	H25	H26	H27(見込)	H28(見込)
一般会計	6,749,654	6,749,637	6,748,851	6,746,412	6,597,745	6,812,609	7,437,353
特別会計	7,890,645	7,836,618	9,118,679	8,716,424	8,909,330	9,012,068	9,981,606

年度末基金残高の推移 単位:千円

	H22	H23	H24	H25	H26	H27(見込)	H28(見込)
一般会計基金計	6,163,133	5,790,359	5,343,859	4,488,401	4,404,119	5,120,296	3,736,041
特別会計基金計	2,436,606	2,146,302	2,031,961	1,986,872	1,692,604	852,712	384,259

インフラ整備は重要だが華美なものや維持費が高くなる造りは自粛すべきではないか。市長が就任以来基金を28億1,000万円ほど取り崩したことになる。平成28年度はさらに19億2,728万円の基金を取り崩す予定である。

Q 空き家対策の担当課がないのは問題ではないか

A 設置する

Q 全国で課題となっている空き家対策について長久手市には対応窓口がないことが判明した。空き家対策には、定住推進としての施策や、防災、防犯、衛生、景観面としての施策（取り壊し撤去等）の切り口がある。諸課題の洗い出しと担当窓口の設置をしていただきたいがどうか。

A 行政経営部長 主管課を決め対応したい。

古戦場公園再整備について

Q 古戦場公園再整備が遅れている理由は何か。

A より多くの市民からの意見を聞きたいため。また国指定史跡地内に園路整備等をしたく、文化庁への協議が必要となるので設計および工事が遅れる。

Q 和弓場利用者を中心に「廃される可能性のある和弓場の存続を求める署名」が3,467名から提出されたが、和弓場は存続されるのか。

A 暮らし文化部長 継続して弓道の活動ができるよう基本計画に反映させていきたい。

吉田 ひでき
議員



Q 市民が「寄附」できる公園ベンチ施策を知っているか

A 承知している

Q 市内の公園は全部で何カ所あるか。

A 建設部長 平成27年度末で市内の公園は67カ所。

Q 公園施設内の遊具や器具は、どのような段階で取り換え等の検討に入るか。

A 都市公園は、公園長寿命化計画に基づき、公園施設ごとの破損状況や安全性等を確認する健全度判定や、修繕、撤去更新時期に対する緊急度判定を行っており、今後、修繕や更新を順次していく。

Q 公園の「砂場」は子どもたちの発達にどのようなプラス効果があると考えているか。

A 「砂場」は遊戯施設として設置し、主に幼児から小学校低学年までの利用者が砂遊びを通じて、子どもの想像力・創造性を広げる効果があると考えている。

Q 子どもを対象としている公園が多いが、これから超高齢社会になる。高齢者も気候の良い時期に向きとなる公園づくりが必要と思うが、本市はどのような努力をしているか。

A 公園は子どもだけではなく、近隣の住民を対象として整備している。整備の際、地域の意見を聞きながら、幅広い世代の人に公園を積極的に利用してもらえようさまざまな利用者を想定し、健康遊具も設置している。

Q 市民からの「寄附」等で公園整備を充実させている自治体があることを知っているか。

A 名古屋市が公園に愛着をもってもらう目的でベンチや遊具等を寄附によって設置していることは承知している。

Q ベンチや遊具の寄附は、寄附金控除の対象となるか。

A 承知していないので確認する。

Q 市長または副市長で現地を見ることができないか。

A 副市長 機会があれば現地を見に行く。



「ふるさと納税」だけでなく、「寄附金控除」の勉強を

山田 かずひこ 議員



Q 「長久手市美しいまちづくり条例」で高さを制限することはできないか

A 建築物の高さを制限する規定はない

Q 「長久手市美しいまちづくり条例」に、事前協議制度を明記できないか。

A 建設部長 周辺環境に大きな影響を与えるような中高層建築物については検討していく。

Q 良好な住環境を守るために、景観条例の制定予定はあるか。

A 建築物や屋外広告物などに関する規制を設けるために、今後、制定に向けて取り組んでいく。

Q 長湫東部、長湫西部区画整理地内の歩道の幅、段差の解消のため、大規模修繕はできないか。

A 毎年部分的には修繕しているが、大規模修繕については費用面の問題もあるが、今後実施していきたい。



北中学校図書室

Q 各小中学校「学校図書館図書標準」の充足率はどのようか

A 長久手小学校、北中学校などで100パーセントではない

Q 中央図書館の学校連携司書は現在何人いるのか。また、各小中学校への配置はどのようか。

A 教育部長 現在4人配置している。小学校週2回、中学校週1回のローテーションで巡回している。

Q 中学校図書館利用率が10パーセント台だが、原因は何か。

A 塾や部活動などで日常が忙しい。今後は魅力ある本を選書し、蔵書構成を整える。

Q 専門知識を持った学校司書を各学校に設置しないか。

A 今後、学校図書館と中央図書館の連携を図り、各学校に1人の学校連携司書を配置できるよう検討する。

山田 けんたろう 議員



Q 以前も提案したジョグパトを取り入れてはどうか

A 平成28年度は本格実施に向けワークショップから開催する

Q ジョグパト（ジョギングパトロール）を平成28年度新規事業の「健康マイレージ事業」と連携してはどうか。

A 暮らし文化部長 健康のためのジョギングを防犯パトロールと兼ねて走れば健康マイレージ事業の対象となる。

市の防犯について

Q 今後の方針は。

A 暮らし文化部長 地域防犯向上の組織作りや侵入盗、子ども女性高齢者を対象とした犯罪防止を重点に行う。

Q あいさつ啓発ベストや運動の市民への浸透は。

A ベストは平成25年に作成した。これまで約1,300枚を配布し、市民や団体が活用している。

Q 市広報の発行部数は

A 平成28年2月は2万6,600部、内2万5,045部を全戸配布している

Q リリモ駅、市内のコンビニへ専用ラックを設置し、必要な人が適宜取るようにしないか。

A 行政経営部長 市内全戸配布をしているためラックの設置は考えていない。

Q 広報がポストから溢れている物件も多い。配布後の状況を確認してはどうか。

A 担当課と協議の上、検討する。

街路樹の適正な植栽と剪定を

Q 現在の街路樹の維持管理は。

A 建設部長 樹種により年1回から3回の剪定と施肥をしている。

Q 40年前に植えた木が高木となり架線にかかってきている。不都合になったからといって伐採すべきではないと考えるがどうか。

A 市長 良いこと良くないこと、わずらわしいことを含めてみんなで考え守っていく。



つくば市で行われているジョグバト、本市でも平成28年度から実施の予定である

上田
大議員



Q 東京オリンピック・パラリンピックを通じた国際交流を

A 検討していきたい

Q 海外のアスリートやチームを受け入れる「ホストタウン」登録が多くの自治体で展開されている。地域の活性化やスポーツの振興、福祉の向上などにつながると考えるが、本市は「ホストタウン」に登録をすることが可能か。

A 暮らし文化部長 「ホストタウン」は国際交流が主たる目的であり、宿泊施設やスポーツ施設の確保は条件ではないため、登録は可能である。

Q 交流の相手国はどのように決定されるのか。

A 自治体が直接、交渉することになっている。姉妹都市の関係などから、ベルギー王国が交渉の相手国にふさわしいと考える。

Q 小中学校の普通教室にエアコンを設置しないか

A 協議していきたい

Q 小中学校の普通教室へのエアコン設置が全国的に進んでいる。本市においての認識はどのようなか。

A 教育部長 現時点では考えていない。

Q 教育委員会において、エアコン設置の必要性について協議をしたことがあるか。

A エアコンに特化した議論はこれまではないが、近隣の設置状況は説明している。今後、教育委員会で議論していきたい。

障がい者支援の拡充を

Q 障がいをもつ方の保護者から、グループホームの整備を強く望まれているが、現状はどのようなか。

A 福祉部次長 現在、整備に向けて、障がい者自立支援協議会と協議を進めている。

Q グループホームの整備と並行して、早い段階からグループホームを体験することのできる施設が必要であると考えているが、認識は。

A 必要性は感じている。既存の福祉施設やアパートなどを有効活用し、体験事業を協議していきたい。



『スポーツには、世界と未来を変える力がある』

さとう ゆみ 議員



Q 認知症支援体制の強化を

A 認知症サポーター養成講座を実施

Q 認知症と思われる人は市内に何人ぐらいいるか。

A 福祉部長 平成28年2月1日現在、介護認定を受けている人で、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の人は711人。

Q 早期に認知症地域支援推進員を配置し、認知症初期集中支援チームの設置をすべきではないか。

A 平成30年4月までに設置できるよう検討する。

Q 幸せのモノサシづくりの目的は何か

A これからは質の高い新しい価値観に立つ

Q 幸せのモノサシとは、数値なのかどのようなものか。

A 行政経営部長 数値的なものであるのかも含めて分かりやすい指標を市民とともに見つけていきたい。

長湫南部公園(旧1号公園)に14基設置されたかまどベンチ



Q 1,000万円以上もの公費を使って市が幸せのモノサシをつくる目的は何か。

A 生活の物質だけの満足度を重視した価値観は限界を迎えており、本当に質の高い生活や地域の豊かさをみんなで確認するシステムに転換していく必要があるため。

各小学校区に1カ所防災公園の設置を

Q 市が洞小校区の南部公園は防災機能を持っており、北小校区の鴨田公園横の緑地にも整備予定である。他の小学校区にも必要と考えるが、どうか。

A 暮らし文化部長 今後「地域防災計画」と連携する形で検討を進める。

Q 地域で議論がまとまれば、公園にかまどベンチ等の設置ができるか。

A 防災には自助、共助が一番大事なので、地域の提案や意見を聞き、公園の防災機能の充実を図っていきたい。

青山 直道 議員



Q 県道瀬戸大府東海線の整備状況は

A 仮設道路着手予定

Q 幹線道路整備計画、幹線道路網見直しは進んでいるのか。

A 行政経営部長 都市計画マスタープランに反映することで、順次、事業として検討していく。三ヶ峯・一ノ井地区のバイパスなど、早急に対応が必要な路線は、次年度から検討を進める。

Q 県道瀬戸大府東海線整備の現況や、平成28年度の目標はどのようなか。

A 県からは、県道名古屋長久手線(御富士線)から北側大草交差点までの区間について、事業展開中だが、県道田名名古屋線以南



の区間の用地買収を先行して進めている。工事用進入道路の工事を平成28年度にかけて着手する予定であり、引き続き用地買収、工事等を進めていく計画であると聞いている。

Q 御富士線から田柵名古屋線までの区間はどれだけ用地買収が残っているのか。また、工事用進入道路はどちら側から始めるのか。

A 建設部長 現在71パーセント買収済み。仮設道路は、御富士線側から始める。

Q 前熊一ノ井地内ほか新設道路設計委託のルートはどのようなか。

A 建設部長 数年かけて調査検討していく。ルートについては、大まかに田柵線から名古屋方面へのバイパスである。

Q 前熊東交差点はイケアオープンまでに改良されるのか。

A イケアがオープンする時期は愛知県も認識しているが、前熊東交差点改良については検討中であり、具体的な対応は、分かっていない。

Q 御富士交差点の改良の見通しは。

A 渋滞対策として例えば右折帯等改良する必要がある。今後愛知県へ協議をしていきたい。



御富士線長湫中池交差点一ここから工事用道路の工事が始まる一

林
み
す
ず
議
員



Q 中学生の自衛隊職場体験はいつから始めたか

A 確認できない

Q 県平和委員会の実態調査では、本市は自衛隊での職場体験を実施していないとなっているがなぜか。

A 教育部長 平成25年は実施していなかったのが、当時は推測で実施していないと判断したと思われる。

Q 体験に宣伝行為や武器等の使用はしないようにと申し入れたのはなぜか。

A 武器使用や戦車に乗り込む体験がされていると聞いた。戦闘地域での人を殺しあうという訓練の体験は必要がないと考える。

Q 確認をしなければならないこと自体が一般の職場体験と異なる。子どもの権利条約や、戦後教育の中で「二度と教え子を戦場に送らない。」と言ってきた。教育者として自衛隊の任務の変更を認識していれば実施しないという方針も取れるのではないか。

A 自衛隊の災害支援の役割は大きい。生徒の職業選択やキャリア

デザインにおいても体験は必要と考え、これからも続けていく。

Q 介護の総合事業化で事業所の意見は

A 厳しいとの意見

Q 介護報酬引き下げの影響は。

A 福祉部長 ギリギリの運営をしている。ボランティアと連携した事業運営は難しく、ボランティアによる適切な支援は難しい等の意見が出ている。

Q 生活支援サポーターは、突発的な事態や事故に対応できる知識や技術が必要である。介護する人、される人双方に混乱をもたらすことのないようヘルパー2級程度の研修が必要と考えるがどうか。

A 研修修了者の知識と技術向上のためのフォローアップ研修を予定している。ボランティア保険などの仕組みも必要である。



子どもの権利条約38条には、戦争からの保護がうたわれている

加藤和男
議員



Q 防犯カメラの効果は

A 大きいと考えている

Q 犯罪件数の現状はどうか。

A くらし文化部長 平成27年1月から12月までに市内で発生した刑法犯罪総数は、648件で前年同期と比較して252件減少した。

Q 対策をどう考えているか。

A 侵入盗防止や振り込め詐欺防止などの講習会、地域や自主防犯団体の防犯パトロールへの参加や支援などを行っている。また、青色回転灯付きパトロールカーによる防犯パトロールを実施している。



特殊詐欺防止のキャッチフレーズ

Q 防犯カメラの設置状況及び効果はどうか。

A 自治会連合会及び区が設置している防犯カメラは、平成27年度末で43台となる。防犯カメラの設置は、犯罪の抑止効果があると考えている。

Q 市内の道路問題は

A 狭あい道路などの課題がある

Q 市内の道路の現状をどう考えているか。

A 建設部長 道路問題には「交通安全」「渋滞対策」及び「狭あい道路」などの課題がある。

Q 岩作旧市街地地区まちづくり推進会議から「岩作地区生活道路基本計画提言書」が提出されたが、どう対応するのか。

A 平成27年度中に「岩作地区生活道路整備基本計画」を策定する。次年度以降は、この基本計画に基づき、地元住民の方々と具体的な整備に向けた協議を進めるとともに、順次、事業に着手していきたい。

Q 県道岩作諸輪線前熊交差点の南にある交差点の信号柱が、歩道の真ん中に立ち通行の障害となっている。市はどう考えているか。

A 平成27年、道路管理者の愛知県と信号機管理者の愛知警察署に、移設の要請をした。平成27年度末から平成28年度に移設予定である。

川合保生
議員



Q 今までリニモにいくら出資したか

A 56億7,830万円である

Q リニモ横領事件に対して市長の12月以降の対応は。

A 市長 副社長として県と会社、とくに新社長にも取締役会で厳しく再発防止を申し入れた。

Q 56億円のお金があれば庁舎の建て替えなど出来ていると思う。リニモが長久手市にとって重要な存在である以上、市の観光における位置づけをどう考えるか。

A 行政経営部長 リニモは国内初の磁気浮上式リニアモーターカーの営業路線であり、それ自体を観光資源と考えている。



Q ネーミングライツ 当市ではどうか

A 近隣市町の状況は 調べている

Q 自治体が自ら稼ぐという観点から導入を考えたことはあるか。

A 総務部長 その観点は必要なことなので、検討していく。

Q 長久手市においては歩道橋3カ所の他、文化の家、体育館等が考えられるが稼ぐことを考えてみないか。

A 現在、ネーミングライツについては都道府県、政令指定都市において行われている。当市のような人口5万程度の自治体ではどれだけのスポンサーが付くか、効果について調査しなければならない。現在導入には至っていないが、今後ファシリティマネジメントにおける維持管理、修繕の財源として税外収入が必要になってくるということから検討していきたい。

Q 少子化対策は

A 子育てしやすいまち

Q 2人目、3人目を産み育てていこうと思えるようなまちだと認識しているか。

A 福祉部長 客観的な人口動向、動態の統計数値における評価に恥じない切れ目のない子育て支援を充実していく。

子どもの貧困対策のさらなる取り組み強化を求める意見書

平成27年11月10日の議会報告会において、市民から「子どもの貧困が増えていること」、「学習内容のつまずき解消をして欲しいこと」などの意見があった。教育福祉委員会で勉強会を重ね、「子どもの貧困対策のさらなる取り組み強化を求める意見書について」をまとめ、議案として提出した。

意見書要旨

子どもの貧困対策のさらなる取り組み強化に向けて、経済的支援など必要な施策の実施、教育の機会均等を確保するための支援策の拡充・強化、給付型奨学金の導入と無利子貸与奨学金の拡充、学力面で課題を抱える子どもたちが必要な学力を確実に身につけられる体制整備への支援を充実することを求める。意見書案は賛成全員にて可決し、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長へ提出する。

市議会条例、規則を一部改正しました

・委員会に関する条例の一部改正

平成28年4月1日から、市組織が変わり、「行政経営部」が「市長公室」に統合された。それに伴い、これまで行政経営部の所管する事務については、総務委員会で審査をするよう定められていたもので、市長公室に統合する改正をした。

・議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

6月と12月に支給される期末手当について議会運営委員会から議案を提出した。昨年8月の人事院勧告を受け、特別職の国家公務員の給与、期末手当が今年3月に改正されたため、市議会議員の期末手当を年0.05パーセント引き上げるものである。今回は4月に遡って改正するのではなく、平成28年度から適用する。審議の結果、賛成多数で可決した。

・会議規則の一部改正

これまで市議会の会議時間は「午前10時から午後5時まで」と規則で定められていた。平成23年第3回定例会から一般質問を午前9時30分から試行していたので、「午前9時から午後5時まで」と改正した。



友愛橋にもネーミングライツを

議 会 傍 聴 記

日本福祉大学 石田 夢果

一般質問の会派代表者質問を傍聴しました。まず、ほとんどの代表者が予算について質問していたことが印象に残り、それほど重要なのだと気付かされました。次に、女性の代表者が女性目線で、社会進出や育児について質問していることは大切で貴重なことだと感じました。時間の制限があり難しいとは思いますが、もっとゆっくりはっきりと聞き取りやすいよう発言してほしいと思いました。

立命館大学 吉田 樹史

本年度最後の議会を傍聴しました。様々な事業や政策を進めていく中で、全員が賛成をして進めるのは難しいことだと思いました。多くの議員が地域共生ステーションについて触れていましたが、反対意見がある中で可決しました。もっと多くの議員が納得いくまで話し合っ

て欲しかったです。

6月定例議会開催予定

(平成28年6月16日～7月6日 21日間)

月日	曜日	開催時間	摘 要
6月16日	木	午前10時	本会議 議案(上程、説明)
6月17日	金	午前10時	本会議 議案(質疑、委員会付託)
6月21日	火	午前9時30分	本会議 一般質問
6月22日	水	午前9時30分	本会議 一般質問
6月23日	木	午前9時30分	本会議 一般質問
6月27日	月	午前10時	常任委員会
6月28日	火	午前10時	常任委員会
6月29日	水	午前10時	常任委員会
7月 4日	月	午前10時	議会運営委員会
7月 6日	水	午前10時	本会議 議案(委員長報告、討論採決)

6月議会への請願陳情の提出締切日は6月2日(木)正午です。

編 集 後 記

この度の平成28年度熊本地震で被災された皆さま、そのご家族の方々に、心よりお見舞い申し上げます。

九州地方で30年以内に巨大地震が発生する確率は、30～42%と言われていましたが、現実となりました。

南海トラフ地震の30年以内の発生確率は70～80%と推定されています。発災時の初期段階は自分を守る「自助」と、地域で協力する「共助」が特に求められるので、ご近所とのつながりを含めた防災の備えが大切になります。市議会としても、更なる「公助」への備えを市へしっかりと働きかけて参ります。(ささせ)

編集特別委員会

委員長	副委員長	
さとう ゆみ	上田 大	ささせ 順子
なかじま 和代	林 みすず	山田 かずひろ